廃棄物発電の高度化支援事業

平成29年度予算(案) 210百万円(260百万円)

高度化の実施

事業目的・概要等

背景・目的

- 東日本大震災以降、エネルギー戦略が見直され、分散型電 源かつ安定供給可能な廃棄物発電の果たす役割への期待は 大きい
- 一方で、廃棄物焼却施設における発電効率が諸外国に比べ て低いなど、ポテンシャルを十分に発揮できていない
- 地域のエネルギーセンターとして機能を高めるには、電力 システム改革に対応し、廃棄物発電による電力供給を安定 化・効率化するとともに電力を地産地消する新たなスキー ムの構築が必要
- また、廃棄物エネルギーの利活用のさらなる高度化のため には、廃棄物処理システムの計画にあたって一体的に検討 する枠組みが不可欠

事業概要

- (1) 廃棄物発電のネットワーク化 F S 事業 (150百万円)
- (2) 廃棄物エネルギー地域利活用計画策定検討等事業 (60百万円)

事業スキーム

(1) 民間団体対象 (2) 民間団体・地方公共団体対象

環境省 (施策の検討) 調査等の委託 調査等の報告

委託事業者(民間団体・地方公共団体) (調査等の実施)

実施期間: (1) 平成27~29年度 (2) 平成28~30年度

期待される効果

自立分散型システム形成をめざした、廃棄物発電・熱利用 の深化 (平成25~29年度に整備された廃棄物発電設備の発電効率21%)

(本事業効果も相まって、2030年度における一般廃棄物焼却施設への高効率発電設備の 導入に伴うCO₂削減(135~214万t-CO₂削減(地球温暖化対策計画))を図る。)

イメージ

市町村の支援

方策・ツール の検討



マニュアル等を参考に、 各市町村が廃棄物発電の 廃棄物発電の高度 導入・増強方策等を実施 化方策をマニュア

ル等により市町村 廃棄物発電の増強に 有効な方策・ツール に示す

を実証・検討

廃棄物処理システムの計画にあたって 廃棄物エネルギー利活用と一体的に検討する枠組みを導入

